

令和7年8月25日

報道機関各位

特許庁総務部普及支援課
青森県経済産業部産業イノベーション推進課

令和7年度「知財経営支援モデル地域創出事業」
伴走支援プログラム オリエンテーションイベント
ー知的財産とデザインの力で未来を描くー を開催します

特許庁と青森県が連携して取り組んでいる「知財経営支援モデル地域創出事業」について、令和7年度に新たに支援する企業を対象に、オリエンテーションイベント（令和7年度伴走支援プログラムキックオフ）を下記のとおり開催しますので、取材してくださいようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和7年8月27日（水）13：00～16：30
- 2 場 所 新町キューブ 3F会議室（青森市新町2丁目6-2）
- 3 参 加 者 令和7年度支援対象企業、事業プロデューサー、支援機関等
- 4 内 容

- （1）事業の概要・趣旨等説明
- （2）事業プロデューサー等自己紹介
- （3）支援対象企業の紹介及び今後の支援等に関する説明

＜令和7年度支援対象企業＞

- 株式会社はとや製菓（青森市）
- 有限会社二唐刃物鍛造所（弘前市）
- なんごうプラザ株式会社（八戸市）
- 株式会社大竹菓子舗（十和田市） ほか1社（調整中）

- （4）講義 「(仮)知財経営について」
（講師：日本弁理士会 弁理士 大澤 豊 氏）

- （5）ワークショップ

事業プロデューサーを中心に、伴走支援を本格的に始動するためのキックオフ・ワークショップで、支援対象企業の現在地や未来を描く姿などについてのディスカッションを通じ、支援計画の策定に向けたアイデアの着想、発散、収束まで一連のワークを行います。

<参考> 「知財経営支援モデル地域創出事業」（令和6年度～）

○事業実施主体：特許庁（担当／普及支援課）

○業務委託先（運営事業者）：株式会社ロフトワーク（東京都渋谷区）

○モデル事業概要：

青森県を知財支援重点エリアとして、プロデューサーチームを編成し、中小企業等への伴走支援を通じて、地域の知財支援ネットワークの強化と地域企業のイノベーション創出を目指す。

○青森県における特徴等：

ものづくり産業のほか、本県の強みである農林水産業等においても「デザイン」の力を活用し、差別化を図るモデルづくりに取り組む。

○令和6年度支援対象企業

日本ハルマ株式会社（弘前市）、株式会社たなか銘産（弘前市）、
合同会社トキあつぷる社（五所川原市）、有限会社斗南丘牧場（むつ市）、
有限会社みなみや（むつ市）

※令和7年度も引き続き伴走支援を実施予定



※写真は昨年度のワークショップの様様

報道機関用提供資料

特許庁 担当課 担当者	総務部 普及支援課 産業財産権専門官 青木 貴美子 支援企画班 長谷川 裕三	青森県 担当課 担当者	経済産業部産業イノベーション推進課 知的財産支援グループ GM 工藤 ユミ 主幹 鳴海 東之
電話番号	03-3581-1101 内線:2340	電話番号	直通：017-734-9417 内線：3770
普及支援課 企画調査官 沼生 泰伸		報道監 経済産業部 次長 山口 郁彦	